

30105橋梁建設工事における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	11 ～ 12	被災者は、場所打ち杭工の鉄筋籠積み込み作業において、15tトラックにより鉄筋加工場から運搬した鉄筋籠の荷卸し作業を行っていた。玉掛け作業完了後に荷台から降りる際、トラック荷台上の鉄筋籠から足を滑らせて仰向けに地面に転落し、負傷した。	75	1	221	10 ～ 29 人
2	2018	1	8 ～ 9	敷地BLP2橋脚のフーチング上で、除雪場所への移動中に転倒した。その際に、腰に差していたハンマーが被災者の右脇腹に当たり、受傷した。	55	2	416	1 ～ 9 人
3	2018	1	15 ～ 16	当社工場内で、被災者が持ち場を離れトイレで用を足した後、作業場に戻ろうとしたところ、通路に足を滑らせて転倒し、右足を負傷した。	44	6	153	—
4	2018	3	8 ～ 9	海上における橋脚構築のために設置された足場にて、型枠天端を固定するタイロッド取り付けを作業員4名と実施していた。タイロッドを所定の位置に引き込む際に、タイロッドを通すために切断していたメタルフォームとタイロッドの間に左手環指を挟み負傷した。	56	7	521	1 ～ 9 人
5	2018	3	16 ～ 17	大型土のうを設置（3段目）するため、設置済みの土のう（2段目）上部の法面をバックホウにて掘削していた。バックホウとの距離を保ちながら2段目の土のう上に落ちた土砂を被災者が人力で片付け作業を行っていたところ、法面が崩壊し、その土砂の下敷きになり腰まで埋まった。	66	5	711	—

12	2018	6	16 ～ 17	足場内で塗膜剥離作業中に、意識不明となった。	34	12	519	～ 9 人
13	2018	6	8 ～ 9	高架橋下部工事で、フーチング部柱帯鉄筋を上部上筋に仮受け作業を行っていたとき、仮受け帯鉄筋の結束線が束ねた帯筋重量を保持できず破断し、帯筋が被災者の背中に落下した。	18	4	521	10 ～ 29 人
14	2018	6	8 ～ 9	高架橋下部工事で、フーチング部柱帯鉄筋を上部上筋に仮受け作業を行っていたとき、仮受け帯鉄筋の結束線が束ねた帯筋重量を保持できず破断し、帯筋が被災者の背中に落下した。	49	4	521	10 ～ 29 人
15	2018	6	7 ～ 8	資材置場に集合し、現場に向かうため1台の車に相乗りし高速道路を走行中、前車を追い抜こうと走行車線から追い越し車線に車線変更し、走行車線に戻る際、雨のためタイヤが滑り、中央分離帯に激突した。	18	17	221	1 ～ 9 人
16	2018	6	7 ～ 8	資材置場に集合し、現場に向かうため1台の車に相乗りし高速道路を走行中、前車を追い抜こうと走行車線から追い越し車線に車線変更し、走行車線に戻る際、雨のためタイヤが滑り、中央分離帯に激突した。	24	17	221	10 ～ 29 人
17	2018	7	10 ～ 11	ケーシングオーガを建込設置する際に、被災者の作業員がオーガ部分を掴んでおり、圧入機操作者がオーガを巻き上げた際に、オーガとケーシングに左指を挟まれ被災した。	48	7	143	10 ～ 29 人
18	2018	7	8 ～ 9	橋梁工事現場で屋外にて掘削の手元作業員として従事して、熱中症となった。	56	11	715	30 ～ 49 人

19	2018	8	7 ～ 8	何らかの原因により左側に衝突した反動で対向車線側に振られ、トンネル出口部でガードケーブルを突き破り車ごと転落した。	43	17	231	1 ～ 9 人
20	2018	8	7 ～ 8	何らかの原因により左側に衝突した反動で対向車線側に振られ、トンネル出口部でガードケーブルを突き破り車ごと転落した。	22	17	231	1 ～ 9 人
21	2018	8	7 ～ 8	何らかの原因により左側に衝突した反動で対向車線側に振られ、トンネル出口部でガードケーブルを突き破り車ごと転落した。	47	17	231	1 ～ 9 人
22	2018	8	8 ～ 9	重ねた鉄板を同僚と2人で向きを変えていたところ、誤って手を滑らせ、持っていた鉄板とローラの受台との間に、右手薬指を挟み負傷した。	70	7	521	1 ～ 9 人
23	2018	8	9 ～ 10	工事の現場において、P10～P11径間部の主桁を架設中、主桁を支承上に据え付ける際に、主桁がバランスを崩し、横向きに倒れ主桁中央部から折れ、そのまま地下に落下、支承部に主桁を固定する転倒防止サポートを設置中に、横向きに倒れた主桁と橋脚に一瞬挟まれて負傷した。	42	6	418	50 ～ 99 人
24	2018	8	9 ～ 10	工事の現場において、P10～P11径間部の主桁を架設中、主桁を支承上に据え付ける際に、主桁がバランスを崩し、横向きに倒れ主桁中央部から折れ、そのまま地下に落下、支承部に主桁を固定する転倒防止サポートを設置中に、横向きに倒れた主桁と橋脚に一瞬挟まれて負傷した。	42	6	418	10 ～ 29 人
			11	工事現場でグラウトホースの切断作業中、切断しやすいようにホース				10 ～

25	2018	10	～ 12	を左手で折り曲げて持ち、カッターで切断していたところ、誤って左手親指を切った。	21	8	364	29 人
26	2018	11	～ 10	現場で塗装剥離作業中、タガネを持っていた右手を捻挫した。	42	19	364	1 ～ 9 人
27	2018	11	～ 15	橋脚構台の延伸工事で、基礎及び下部工事の施工中、斜面にH鋼を仮置きするため、70tクローラクレーンで荷を吊り上げた。H鋼を斜面に降ろす際、H鋼が吊り治具から外れて落下し、斜面上にいた被災者がH鋼と斜面にあった切り株の間に挟まれて死亡した。	21	4	372	10 ～ 29 人
28	2018	11	～ 13	道路上で4tトラックから鉄骨階段を降ろすため、職長と被災者が荷台に上がった。積載していた階段が上下反対だったため、階段をひっくり返したところ、勢い余って階段が被災者の右足に当たり負傷した。	31	6	212	10 ～ 29 人
29	2018	12	～ 5	夜間作業終了後、3名が乗車したワンボックス車にて帰宅途中、ICからバイパスに乗り、会社に向かっていった。追い越し車線を走っていた大型車両が突然車線変更を開始し、運転手は咄嗟に急ブレーキを掛けてハンドルを切って衝突を回避したが、中央分離帯に接触し、その反動で左側壁高欄に激突した。被災者は後部座席に乗っており、右膝に打撲や割創を負った。	64	17	221	1 ～ 9 人
30	2018	12	～ 5	夜間作業終了後、3名が搭乗した普通車（ワンボックス）にて帰宅途中、ICからバイパスに乗り、下り線を会社に向かって走行していた。追い越し車線を走っていた大型車両が突然車線変更を開始、運転手は咄嗟に急ブレーキを掛けハンドルを切って衝突回避したが、中央分離帯に接触、更に反動で左側壁高欄に激突した。被災者は後部座席に乗っており、複数箇所を骨折した。	64	17	221	1 ～ 9 人
				夜間作業終了後、3名が搭乗した普通車（ワンボックス）にて帰宅途				

31	2018	12	4 ～ 5	<p>中、ICからバイパスに乗り、下り線を会社に向かって走行していた。</p> <p>追い越し車線を走っていた大型車両が突然車線変更を開始、運転手は咄嗟に急ブレーキを掛けハンドルを切って衝突回避したが、中央分離帯に接触、更に反動で左側壁高欄に激突した。被災者は後部座席に乗っており、右肩に打撲を負った。</p>	64	17	221	1 ～ 9 人
----	------	----	-------------	---	----	----	-----	------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。